

2020年4月9日

**2020年4月9日にシрил・ラマポーザ大統領が発表した
新型コロナウイルスに関するメッセージ（抜粋）**

南アフリカ国民の皆さん、

新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるために、我国は前例のない全国的都市封鎖（ロックダウン）措置に踏み切り、まもなく迎える午前零時でちょうど2週間を迎えます。

国境は閉鎖され、子供たちが通う学校は休校、企業の業務停止に伴い多くの人々が収入源を失い、経済活動は停止の状態となっています。

このような試練を強いられているにもかかわらず、南アフリカの人々は驚くほどの忍耐と勇気を持って、厳しい措置に応じてくれています。

国民の大多数は都市封鎖措置を尊重すると同時に規制の遵守に努めています。

皆さんは移動や外出など、当たり前だった日々の自由に課された厳しい規制を受け入れてくれました。

皆さんの協力と責任感、そして何よりも忍耐に対して感謝の意を表します。

2週間ほど前にロックダウンの実施を発表して以来、世界における新型コロナウイルスの感染状況はますます深刻化しています。

世界の感染者は2週間前の34万人から現在では150万人まで急増するとともに、すでに90万人以上もの死者が確認され、医療態勢は世界有数の先進国を含めた多くの国々で危機的状況に面しています。

こういった状況からも、早い段階で非常事態を宣言し、全国的な都市封鎖に踏み切った我々の判断は正しかったと言えます。

南アフリカ国内における新型コロナウイルスの感染状況を正確に分析するには時期尚早ではありますが、すでにロックダウンの効果を裏付けるに十分な証拠が得られています。

ロックダウンの開始以来、南アフリカ国内で新たに確認された感染者数の増加率は大幅な減少傾向を示しています。

3月27日時点で1,170人だった感染者は、現時点（4月9日）で1,934人となっていますが、新たに確認された感染者数の一日あたりの平均増加率は、ロックダウン前の2週間で約42%だったのが、ロックダウン後には約4%まで低下しています。

感染状況をより正確に把握するには検査体制の拡充が必要であることは認識していますが、ロックダウンが着実に効果をもたらしていることに疑いの余地はありません。

しかし新型コロナウイルス終息までの道のりは長く、あらゆる資源と努力を費やさねばならない戦いは未だ序盤にすぎません。

もしロックダウンの解除を早まってしまうと、感染の広がりや再燃の勢いを増して抑えることができなくなる状況に陥る危険性を秘めています。多くの犠牲を払うことでこの数週間に得られた成果が水の泡となって消えてしまうリスクが存在しているのです。

南アフリカ国民の皆さん、

今夜、私は皆さんにさらなる忍耐を求めなければなりません。

現在の危機的状況を克服し多くの生命を救うために、さらなる犠牲を払ってもらう必要性に迫られているのです。

現状について慎重に検討を重ねた結果、コロナウイルス国家対策本部は当初予定していた 21 日間の全国的都市封鎖期間をさらに 2 週間延長する決断を下しました。

これにより、現在執られているロックダウン措置のほとんどが 4 月末まで継続することになります。

ロックダウン期間延長の決定は安易に下されたものではありません。

私は大統領として、今回の決定が皆さんに大きな負担を強いるとともに、経済に大きな影響を与えることを認識しています。

我々は皆、経済の回復をはじめ、人々が職場へ復帰し、子供たちが登校を再開し、自由に外出や移動ができるようになることを望んでいます。

しかし、当面の優先課題はウイルス感染の広がりを遅らせ、死亡者の発生を最小限に食い止めることに他なりません。

そのために我々は 3 本の柱で構成される戦略を立てました：

- 第一に、感染を抑えるための公衆衛生対策の強化
- 第二に、感染拡大の影響がおよんでいる企業・個人への包括的経済支援対策
- 第三に、貧困層や脆弱な世帯を対象とした社会的支援プログラムの確立

今後 2 週間にわたり、脆弱な地域を優先しながら全ての州でスクリーニング検査プログラムを実施してまいります。

陽性と診断されても自宅隔離が不可能な人には、現在整備を進めている特別隔離施設の提供を開始します。

いかなる時でも、あらゆる人の人権は守らなければなりません。

陽性と診断された人への差別が許されるような状況があってはなりません。

包括的リアルタイムデータに基づいた戦略の効果を着実に高めていくため、科学・工業研究評議会には新型コロナウイルス（COVID-19）情報センターが併設されました。

国際的レベルを誇るこの情報センターでは全国各地におけるスクリーニングや検査、隔離、入院に関する全ての情報が集約され、これまでに多くの感染が発生しているホットスポットの特定を可能としています。

ウィルス感染の広まりや患者の重症度を的確に把握することにより、支援を最も必要とする場所に重点を置いた資源の振り分けも実現されます。

また陽性と診断された人、およびその濃厚接触者の位置情報の把握を可能にするための取り組みも携帯電話事業者などと協力して進めています。

そして第二の戦略に基づいて、窮地に立たされた企業や収入源を断たれた労働者、フリーランス、個人事業主を対象とする様々な支援策も講じています。

これらの支援策は規模の大小を問わず、数多くの企業によって活用されています。

我々はあらゆる手段を通じて、経済基盤を維持しながら支援を最も必要とする中小零細企業をしっかりと支えていかねばなりません。

世界中の国々が現在抱えている最も深刻な問題のひとつは、コロナウィルスと闘う上で必要となる医療用品の不足。

我々はこれらの医薬品の供給を国内の生産能力に頼らざるを得ないものの、他国からの輸入も避けられない状況となっています。

南アフリカでは企業、労働者、学者、政府機関などを総動員し、新型コロナウイルスの治療に必要な医療品や各種機器の在庫の確保にを進めています。

そしてコロナ対策における第三の戦略として、最も貧しい層の人々が生活していくために必要な水や食料を着実に供給する体制の確立に努めています。

現在の危機的状況を克服するうえで重要なのは、国民一人ひとりが一致団結して立ち向かう姿勢を示すことに他なりません。

数多くの地域社会、企業、個人では財政面をはじめとした幅広い分野での支援活動に乗り出しています。

この一環として、政府でも向こう三ヶ月にわたって大統領、副大統領、大臣、副大臣の報酬の三分の一を返上し、全額を団結基金に寄付することを決定しました。

国が一丸となって支援の輪を広めていくため、我々は公務員や大企業の幹部などにも同様の行動に踏み切るように呼びかけています。

これまで指摘してきたように、コロナウィルスとの闘いには一人ひとりの行動における抜本的变化が求められています。

ウィルスは身体的接触を通じて感染するため、握手やハグ、寄り添って座るなどの行為は避けなければなりません。

水と石鹸、消毒液などを用いた手洗いの徹底も継続していかねばなりません。

自分自身と他の人の健康と安全を守るため、我々は日々の生活における外出や移動に対するあらゆる規制を尊重し、遵守に努めなければなりません。

コロナウィルスの流行は南アフリカ人を含め、世界中の人々の生活を一変させてしまいました。

すでに我々は従来のように働くことができなくなっています。

政府、非政府団体、政党、大企業、中小企業、金融機関、コミュニティ組織、そして南アフリカ国民の一人ひとりが新たな現実に適応していかなばならないのです。

この危機を乗り越えていく過程で、我国は抜本的再建に取り組む必要があります。

その上で、我々には豊富な天然資源をはじめ先進的インフラ、厚みのある金融市場、実績に裏付けされた情報コミュニケーション技術力、人々に備わる豊かな才能など、南アフリカが持ち合わせるあらゆる強みを結集せねばなりません。

今、我々は困難な状況に置かれています。

困難な道のりをともに歩み、コロナウィルスに打ち勝つために、我々は断固たる決意とともに一致団結し、この局面を乗り越えていかなばなりません。

皆さんには従来にも増して多くのことが求められているのは承知していますが、これは生き残りをかけた戦いであり、負けるわけにはいかないのです。

我々は必ずや困難を克服し、立ち直ってみせます。